

令和7年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473800611	事業の開始年月日	平成16年3月1日
		指定年月日	平成16年3月1日
法人名	特定非営利活動法人 都筑の丘		
事業所名	グループホーム都筑の丘		
所在地	(〒224ー0057) 神奈川県横浜市都筑区川和町1705		
サービス種別 定員等	□ 小規模多機能型居宅介護		登録定員 名 通い定員 名 宿泊定員 名
	■ 認知症対応型共同生活介護		定員計 27 名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和8年1月20日	評価結果 市町村受理日	令和8年6月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年はコロナ禍で開催できなかった、敬老祝賀コンサートとクリスマスコンサートを6年ぶりに行いました。感染予防を考慮して、敬老祝賀コンサートはみずき棟とあじさい棟の2会場で行い、クリスマスコンサートはご入居者と職員の参加でみずき棟で行いました。しかしながら以前のようにご入居者とご家族、職員、地域の方達が一同に集まり楽しむことが出来なかったという無念さが残りました。そこで何かいい方法はないのかと検討した結果四季の花が咲く時期にコンサートやイベントができる、野外音楽堂をイングリッシュガーデンに作るようになりました。工事はもう始まり、河津さくらが満開の頃の2月28日にこけら落としのコンサートを行います。演奏は、コロナ前に敬老祝賀コンサートに来ていただいた横浜音楽文化協会のピアノ、バイオリン、バリトン、ソプラノの方々が来てくださいます。薔薇や紫陽花の咲く頃にもコンサートを予定しています。GH都筑の丘でご入居者、ご家族、職員も共に心豊かな生活をが送れることを願っています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町2-3 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和8年2月18日	評価機関 評価決定日	令和8年5月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 当事業所は、横浜市営地下鉄グリーンライン川和町駅から徒歩10分ほどの場所に位置する木造の平屋と2階建ての2棟からなる3ユニットのグループホームである。2000坪の敷地には豊かな自然が広がり、農園や四季折々の花が咲くイングリッシュガーデンは、利用者や家族はもとより、近隣の方の憩いの場になっている。 【利用者の日々の生活の充実に向けた環境整備】 「心豊かな生活を送る」という理念の実現のために、事業所屋内外の環境整備に力を入れている。コロナ禍以降、気軽に外出ができない状況下にも、利用者が季節の移ろいや自然の風を感じながら、敷地内の散歩を楽しめるように、庭の裏手の農園だった場所を利用し、バラや紫陽花等々の多種多様な花々を植え、イングリッシュガーデンを造った。また散歩時に腰をかけたり、お茶を飲んだりできるようにガゼボ（西洋あずまや）を建設した。散歩道に、歩きやすく、車いすも通れるように敷石を敷き詰めて整備したり、数箇所にベンチを設置するなどして配慮している。また所々に置かれた石造りの動物が和やかな雰囲気を醸し出している。感染症対策で一堂に会してレクを楽しむことができなくなったことから、今年度は、敷地内に野外音楽堂を建設した。2月末には、こけら落としに、プロの音楽家を招いて、コンサートを予定している。 【理念に基づいた充実したサービスの向上】 開所以来、利用者や家族に寄り添い、地域に根差した運営を目指している。近年は、更なるサービスの向上のため、職員の育成や処遇改善にも注力をしている。理念の「五感を刺激し、個人の能力が発揮できる支援」は、職員が豊かな感性を持つ事で実現できると考えている。職員の感性を底支えし、サービスの向上につなげるべく、職場環境の整備を図ったり昇給等を行っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム都筑の丘
ユニット名	みずき棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は各ユニットの職員室に掲示しています。月1回行われるワーカー会議時に声を出し復唱をしています。5つの理念があります。その中に「地域社会の一員として心豊かに生活を送れるように支援します」というのがあります。ご入居者は川和町の住民として生活をしています。	開所時に作成した理念に基づき、「利用者の尊厳やプライバシーを守り、地域の一員として心豊かで安心な生活が送れるように支援します」としている。その実現のために庭も含めた事業所全体の環境整備に注力している。利用者は、日常生活の中で調理の音や香りで時間の経過を認識したり、自然に恵まれた庭園を散歩しながら花々を眺めたり、小鳥のさえずり聞いて季節の移ろいを感じている。職員は、利用者の生活が理念に沿ったものになるように、常に理念を意識してケアに当たっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	川和地区ネットワークの「川和艺术展や川和小学校のコミュニティフェスタに参加しています。地域の商店街から食材を調達してもらっています。みどり保育園とは長い付き合いで、7月には七夕交流をしていましたが近年猛暑のため、先生が竹を取りに来られます。お芋ほりは元気に来てくれます。毎年2月の後半には満開になる河津桜をご近所の方も楽しみにされています。夜はライトアップして喜ばれます。	町内会に加入をして回覧板などから情報を得ている。地域からの入居者も多く、開設時から地域に根差した事業所として活動をしてきた。日々の食材を地元の商店で購入している。また近隣の保育園とは四季折々の行事で連携を図るなどして、保育園児と交流を楽しむ機会を作っている。また庭の手入れや農園作業に、ボランティアが参加している。今年度は、地域の方にも親しまれてきたイングリッシュガーデン内に音楽堂を建てた。現在、コンサート等を企画しており、地域の方にも参加を呼びかけている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近年さびれて行く都筑ヶ丘商店街への地域貢献として開設以来地域の商店を利用しています。米屋、肉屋、電気屋、食品全般の宝屋、中華料理店からは年に数回出前を頼んでいます。川和艺术展のポスターを店頭に貼らせていただい			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1度開催しています。ご家族、加賀原地域ケアプラザ、民生委員、婦人会やボランティアの方達と活動報告や情報提供や意見交換をしています。時には昔話に花が咲くこともあります。	運営推進会議は、地域包括支援センター職員、民生委員、川和町婦人会会長、ボランティア代表、家族（輪番制）をメンバーとし、2か月ごとに開催している。事業所からの活動や運営等の各種報告、参加者からの、地域の実情報告や、地域包括支援センターの催し物等の情報提供の議題のほか、時には地域の昔話に花が咲く事もある。	運営推進会議が形骸化している側面は否めません。利用者のニーズの変化を踏まえ、運営推進会議の場を活用し、利用者や家族に対して、更に事業所運営に携わって頂けるよう呼びかけることを期待します。また地域住民の高齢化に対して事業所として協力できることについて、町内会や地域包括支援センターと意見交換されることを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	加賀原地域ケアプラザが主催する川和地区ネットワークの会員になっています。毎年行われる都筑区役所の認知症パネル展にも参加しています。その時にパンフレットを置かせていただいてGH都筑の丘のPRをさせていただいています。	都筑区地域福祉保健計画の川和地区の計画に協力をしており、地域の一員として「川和アート展」に利用者の作品を出品したり、利用者が「川和小学校コミュニティフェスタ」に参加をし、パッチワーク作りをするなどして地域の方と交流をしている。また都筑区「認知症フォーラム」では、事業所の紹介をしている。横浜市のグループホーム連絡会に参加をして、職員の交流や交換研修を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束はしない」という前提のもとケアをしていますが「これって身体拘束？」と思われる場面もあります。その事に気づくことが大事でワーカー会議の時に確認しています。身体拘束に関しての研修等も、Y o u t u b e などの動画を活用し、各職員が行いました。	身体拘束適正化委員会は、各棟のホーム長、施設長、副理事長、理事長をメンバーとし、3か月ごとに実施している。毎月のワーカー会議では、日々のケアの内、どのようなケアが身体拘束に当たるのかという疑問点等を話し合い、確認をしている。事業所の玄関は施錠をしているが、各居室の窓やリビングからテラスに出る掃き出し窓は日中開錠しており、自由に入出りができる。入居相談時から「向精神薬の使用をやめさせたい」と希望する家族には、協力医が直接意向を聞き減薬に取り組んだ事例がある。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員と身体拘束適正委員会は同時に3か月毎に全体会議時に行っています。入居者の痣や傷はすぐに写真を撮ったり、連絡帳に記録し、管理者に報告をして原因を究明しています。入居者の安全と人権を守る努力をしています。毎年「神奈川県養介護施設従事者による一斉点検」の自己点検を全職員が実施し、その結果をまとめ研修をしています。	虐待防止委員会は、身体拘束適正化委員会と同時開催をしている。職員は毎年、不適切ケアのチェックリストを用い、セルフチェックしている。また研修では、どのような事が虐待に当たるのかなどの意見交換をして確認している。また外部の社会保険労務士と連携を図り、各職員がストレス等の悩みを直接相談できるようにしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者の権利を尊重して守ることの大切さをも含めて研修をしています。職員もしっかり理解しています。現在は成年後見人制度を利用されている方はいませんが、以前に事例として学びました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に相談員が利用者、及び代理人の権利（第10条）義務（第13条）契約解除（第14条）等をわかりやすく説明をしてご理解していただき同意を得て契約をしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年外部評価でいただいた家族アンケートはたくさんのご意見を頂きドキドキしますが、うれしいです。改善できる事は速やかに改善し反映しています。頂いたご意見はご家族に文書でお答えしたり、面会に来られた時にお話ししています。頂いたご意見や提案をみずき棟の職員と相談、話し合いをしてすぐに対応をしています。普段からご家族とご入居者のコミュニケーションを大切にしています。	家族の面会も多くあり、面会時には利用者と家族がイングリッシュガーデンで散歩を楽しんでいる。家族アンケートでは、職員の対応や事業所の屋内外の環境等について、感謝の声が多く届くなど、家族からの信頼も厚い。毎月、利用者の日々のケア記録を記した「報告書」に日常の様子を写した写真を添えて家族に送付している。また季刊誌「ハロー都筑の丘」を送付し、事業所の活動や運営情報等を伝えている。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務の中で発生した問題点は速やかにその場で話し合い解決するようにしています。ワーカー会議で職員からの要望、提案等を聞いて改善に繋げています。	施設長、各ユニットの管理者、理事長、副理事長が参加する毎月の全体会（法人の方針や全体行事等を確認する会）ならびに、ユニットごとのワーカー会議兼ケアカンファレンスで職員の要望や意見を聞いている。職員から「立ち上がりの不安定な利用者が立ち上がった時に音が鳴るクッションを取り入れたらどうか」という提案があった。家族の了解を得て採用した結果、音が鳴る事に対する利用者の動揺もなく、職員も利用者の立ち上がり時に素早い対応ができるようになった。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力、実績、貢献度等を公平に見極め職員が前向きに安心して働けるような環境を作ることを努力しています。介護職員処遇改善加算は年3回支給しています。ハラスメント等や悩みがある時は直接相談できる社会保険労務士が全員に名刺を配ってくれています。	全職員が直接雇用であり、勤務歴の長い職員も多く、働きやすい職場環境が構築されている。賃金面を特に考慮して、通常の勤務年数に伴う昇給や資格手当に加え、非常勤職員も含めて介護職員の処遇改善加算分を月々の給与に上乘せしている。更に年に3回、ボーナスを支給している。年1回の個人面談のほか、施設長、副理事長も一緒にケア入るときには、職員に声を掛け、出来る限りコミュニケーションを図り、相談にもタイムリーに応じている。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本年度も神奈川県看護協会の感染管理認定看護師によるノロウイルスやN95のマスク、ガウン着脱のチェック、手洗い等の感染症対策の方法を復習実施しました。実践者研修や実践者リーダー研修にもみずき棟からそれぞれ1名ずつ参加をしています。昨今は全員が集まる研修が難しくなり、Uチューブや動画配信で個人でも視聴できる研修をしています。	法人の方針として開所時から人材育成に力を入れている。資格取得を奨励し、受講料、交通費等を負担している。今年度も、外部の講師を招いた研修や、他法人のグループホーム職員との交換研修を実施している。また個々の職員のスキルに合わせた動画研修なども取り入れ、職員は、勤務時間中に視聴している。現在、各ユニットの管理者を担う職員3名は、介護支援専門員資格を入職後に取得している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	みずき棟からは1名、10月に横浜市高齢者グループホーム連絡会の介護職員現場交流交換研修に参加しました。また、現在、かながわ福祉サービス振興会が開催している認知症介護実践者研修、認知症介護実践者リーダー研修にそれぞれ1名ずつ参加しており、実習中です。研修に参加し他事業所の方と名刺交換し交流が持てます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご家族に書いて頂いたアセスメントをもとにご本人から話を聞いたり、様子を観察しながら職員一体となって取り組んでいます。歌を歌ったり、庭のお散歩に行くなどして出来るだけ、都筑の丘の生活に慣れて頂けるよう支援をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや、ホームへのご希望等を遠慮なくいつでも相談していただけるように面会時や電話でしています。職員間でも連絡帳やケースファイルを使い、情報を共有しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	副理事長（相談員）、管理者とホーム長がご家族からの要望をお聞きし、要望に添えるように対応しています。みずき棟職員が情報の共有をし連携を取りながらご入居者の支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの庭を活用し、ご入居者様同士と職員で散歩に行ったり、皆さんで歌を歌ったり、体操の余暇支援をするなどしてご入居様同士の人間関係の構築の支援をしています。仲良しの入居者様同士もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出などを再開し、ご入居者とご家族がゆっくり過ごしていただくために面会時間や人数の制限はなしにしました。2025年の9月にはコロナ禍以降、6年ぶりに敬老会を実施し、ご家族、職員、ご入居者皆さんで音楽会を楽しみました。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	九州から来られたご入居者に手紙が来ることもあり、ご家族と情報共有しながら手紙をお渡ししたり、電話の援助をしています。馴染みの方も認知症になり何度も電話がかかってくるケースもあります。が、職員が間に入り対応しています。	地域から入居している利用者が多く、町全体が馴染みの場になっている。利用者の孫が成人式の振り袖姿を見てもらうために訪問した際に、その孫の顔を覚えていた男性利用者が「かわいいね」と言って喜んだエピソードがある。女性の利用者は、以前は庭で収穫した梅干しづくりをしていた。梅干しづくりには、利用者各々にこだわりがあるため、現在は梅ジュースづくりに落ち着いている。また針を使える方が比較的多く、パッチワークの壁掛けを共同制作して区の展示会等に出品している。毎日お化粧をしたり、アクセサリーを選んでおしゃれをする方や、新聞を読む方等、入居前からの生活習慣の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	洗濯畳みや食器拭き、新聞畳みなどのお手伝いをご利用者様同士でして頂き、お互いが生き活きと生活出来るような支援に努めています。トラブルや口論に発展しそうな際は座席や距離感を職員が考え、配慮をして対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去をされるとご本人との関係性はなくなりますが、ご家族はボランティアとしてきてくださったり、ホームを紹介してくださり、そのご縁で入居された方が何人かいます。年末になると毎年カレンダーをもって来てくださる方もいます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	庭の散歩をしている時や入浴時などにご入居者の思いを職員は傾聴し、それを日々のケアに反映しています。認知症が進行し、ご自分のお気持ちなど伝えられない方には職員間で情報を共有し、穏やかな生活をしていただけるようなケアをしています。	職員は、利用者と1対1になるときに出来るだけ世間話や思い出話などをしながら利用者の思いを引き出すようにしている。その際に利用者が希望や家族への不満などを思わずつぶやく事もある。把握した利用者の思いや意向は個別ファイルの「報告書」に記載して、職員間で共有し、ケアプランに反映させることもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族に書いて頂いたアセスメントをもとにご本人から話を聞いたり、見守りながら情報の共有をし職員一体となって取り組んでいます。歌を歌ったり、庭のお散歩に行くなどして出来るだけ、都筑の丘の生活に慣れて頂けるよう支援をしています。出身地のお話しは、他入居者も巻き込み話が盛り上がり、生活歴などの把握ができます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者1人1人の生活の様子をPCの報告書で日勤帯、夜勤帯と分けて職員は把握しています。出勤時には必ずPCの報告書を職員は確認をします。心身状態に関しては毎朝夜勤職員がバイタル測定をしてノートに記入しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ワーカー会議で意見を出し合い、それをケアプランに反映し、実施をしています。服部歯科Dr、さとう内科Drとも連携し、医療面のフォローもしつつ、面会時などにご家族からの意見、散歩や入浴時などにご本人の意見もお聞きし、ケアプランに反映をしています。	介護計画は、利用者、家族の要望を聞き、アセスメントとモニタリングを基に毎月のワーカー会議でケアカンファレンスを行い、医療関係者の意見等を反映して作成している。日々のケア記録「報告書」に利用者の思いや行動等を詳細に記載して、介護計画のサービス内容と連動させモニタリングに生かしている。介護計画の見直しは6ヶ月ごとに行い、計画の見直しはワーカー会議で報告をして周知を図っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子はPCで入力し報告書として1か月分をご家族に送付しています。メールをご希望の方にはメールで送信しています。業務日誌や連絡帳、排泄チェック表などは職員間で情報を共有しながらケアの実践をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	加賀原地域ケアプラザ、川和地区ネットワークや川和小学校コミュニティ、地元の商店街、消防団、婦人会などの協力をいただきながら多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月に1回音楽ボランティアの方に来て頂き、3棟合同でらんらん会が1月から復活しました。ピアノの演奏を聴いたり、歌ったりしてご入居者が心豊かになるよう支援しています。また、ご近所の方から季節の野菜を頂き採りたての旬の野菜を食べています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	さとう内科クリニックDr、服部歯科Drに 定期的に往診に来て頂き、ご入居者の体 調管理をして頂いています。なじみのあ る病院に行かれる場合はご家族付き添い で受診して頂いています。緊急時や薬の 変更等はDrからご家族に直接電話で話を していただいています	利用者全員が協力医療機関（内科）をか かりつけ医とし、月2回の訪問診療を受診 している。また必要に応じて、協力医療 機関から精神科や、皮膚科、整形外科な どの訪問診療も受診している。歯科は、 利用者全員が入居時に診察を受け、必要 に応じて訪問診療を受診している。日常 の口腔ケアは歯科医師や歯科衛生士に指 導を受け、職員が対応している。眼科等 の専門医への通院は、原則家族が付き 添っている。受診情報は「受診、入退院 記録」に記載して職員間で情報共有して いる。週1回、協力医療機関の訪問看護師 が来所して、利用者の健康管理を行って いる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	毎週金曜日に看護師が健康観察に来ます ので、その時にでき始めの褥瘡の手当て や、皮膚剥離の処置などもしてくれま す。気軽に相談できるので心強いです。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急入院時には訪問医療のさとう内科から迅速に紹介状を送ってもらっています。受診時にはホーム長や管理者が家族と共に同行し、医療機関に情報の提供をしています。退院の際は病院関係者とホーム長、施設長、副理事長とで連携を図り日程の調整や退院後のご入居者様の生活や対応に関して話合っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	介護保険上の看取りの方針では無いものの、今までに何人かの看取りをしています。みずき棟では10月中旬から急激に食事が落ちてしまった男性入居者W様（97歳）をご家族、さとう内科Dr、服部歯科のDrと職員が連携をしながらカンファレンスを行い、ホームで看取りをしました。1月15日に穏やかに旅立たれました。ご家族様からも感謝の言葉を頂戴しています。	入居を検討している方には、見学時に「重度化対応に関する指針」を基に、事業所が積極的に看取りは行っていないことを伝えている。過去にも看取りに至った事例が複数あり、重度化した際はぎりぎりのところまで事業所で過ごす方が多くいた。今年度も1名の看取りを行っている。看取り時には、24時間オンコール対応の協力医から、看取り時の指導を受けている。また訪問歯科医が痰の誤嚥予防対策で年末年始にも毎日来所し、利用者の口腔ケアに当たってくれた。この一件もあり、職員も看取り時の口腔ケアの重要性を痛感している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナ禍でできなかった応急手当、初期対応の訓練を、2月13日に行いました。都筑消防署川和出張所の署長さんが来られ、AEDの使い方を参加職員全員が体験し、震災講話もしてくださいました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCP訓練を行っています。避難場所から庭に避難と言う想定で非常食を庭で食べる予定でしたが寒かったのでできませんでした。ホームの庭が地域住民の一時避難所になることを考えております。地元の消防団、ご近所との協力体制はできています。	今年度は10月にBCP（事業継続計画）に沿って夜間想定の方火災の避難訓練を実施している。3月には消防署立ち合いの日中の訓練を予定している。訓練時は庭園に建てたガゼボやパーゴラを避難場所の目印にして集合している。備蓄品は事業所内にリスト化して備えている。他に、災害時には近隣の方の避難場所になることも想定して、近隣の法人倉庫に7日分の食品や飲料水を備蓄している。居室のベッドは窓から離れた位置に配置し、ガラスの飛散に備えている。また各居室からは、テラス越しに庭に出られる構造になっている。川和町町内会、婦人会、消防団との協力関係は構築されている。	災害時の地域との連携を更に強固にするために、地域包括支援センターの協力を得ながら、運営推進会議等の場で、話し合っ、互いにできる事について明確にする事を期待します。また事業所内の家電や棚の上などを再点検して災害時の減災に備える事を期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	GH都筑の理念に従い、ご入居者大切なお客様と考えご入居者のケアや声掛けをしています。職員同士、不適切な声掛けや言い方などにならないよう、その場で注意したり、ワーカー会議でも話し合っています。	理念の「個人を尊重し、プライバシーを守ります」を職員は常に念頭に置き、利用者の接遇に当たっている。職員は、利用者についての話をする際や、記録類を記入する際も、事務所内で行うように配慮している。また個人情報の保護に努め、緊急時や救急対応で個人記録を持ち出す際は、持ち出し用として別ファイルを用意している。パソコンはパスワード管理、個人記録を含む書類は施錠管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩 の時や入浴時など職員は付き添いながらご入居者の話を傾聴しています。もやしのひげ取りをして頂いているご入居者には職員も隣に座り、一緒に仕事をしながらお話しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事などの時間は決まっていますが、散歩や体操などの余暇支援は強制はしません。一日中寝ている方もいます。居室で過ごされるご入居者は本を読んだり、読経したり、書き物をしたりご自身のペースで生活して頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で着替えや整容が出来るご入居者はご自分でして頂き、介助が必要なご入居者には季節にあった衣類などを職員が用意して支援をしています。ご家族が来られマニキュアなどを塗ったり、イヤリングやネックレスを洋服に合わせ変えている方もいます。お化粧をされる方もいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器拭き、テーブル拭き、ランチョンマット拭き、もやしのひげ取りなどは得意な方が率先してしてくれ自然に役割分担ができています。人気のある献立は栄養士に話し回数を多くしてもらっています。ご近所の町中華の中華1番や銀のさらからお寿司の出前をとり楽しんでいます。お正月の手作りのお節、母の日、父の日、敬老の日は老舗の味を楽しんでいます。おいしく食べることはなよりの支援だと思っています。	毎日の食事を重視して、季節感を大切に旬の食材を使った食事を提供をしている。管理栄養士が作成した献立を基に、3食とも職員が調理をしている。食材は近隣の商店に発注している。前日の夜勤者が翌日の食材の下ごしらえをする等の工夫を通して、利用者に対応する時間を確保している。事業所では、調理は利用者の五感を刺激する基として捉えている。出汁の香りや、食材を切る音は、利用者の時間の経過などに対する認識に繋がっている。庭園には実のなる木や菜園があり、利用者は季節感を感じながら収穫を楽しみ、梅ジュースを作ったりしている。行事には老舗のお弁当を取り入れ、味だけではなく目でも楽しんでもらっている。時には近隣から中華や寿司の出前を取り、利用者にメニューを選んでもらなどして、食に彩りを添えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を活用し、ご入居者の食事量、水分量は職員全員が共有をしています。食事をしていても途中で手が止まったり寝てしまう方には随時隣に付き添い、介助をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアが必要な方は担当の職員が口腔ケアを実施しています。みずき棟では毎週金曜日に歯科衛生士の口腔ケア、毎週木曜日に歯科Drの往診をして頂き、職員も指導を頂きながらケアを実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、職員間で情報共有をしながら介助をしています。リハビリパンツ、パッドを使用している方もトイレで排泄をしていただいています。ご自分の居室で排泄をして大量にパッドを消費してしまうご入居者に対しては横浜市の高齢者紙おむつ給付事業をご家族に提案し、給付を受ける事で金額の負担を軽減しました。	4名の利用者が布パンツを使用して自立してトイレで排泄をしている。そのほかの方は1名を除いてリハビリパンツにパッドを使用している。職員は排泄チェック表を確認をして、トイレでの排泄を支援している。夜間は出来るだけ睡眠を優先して個別に対応している。夜間ポータブルトイレを使用する方が1名いる。また夜間転倒が懸念される方は、家族に了承を頂き、離床センサーを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を使い、職員は情報共有をし、さとう内科Drと連携しながら下剤の調整をしています。また、管理栄養士の献立でバランスの良い食事でも食べて頂いています。日々の余暇支援で散歩や体操にお誘いし、排便のリズムが良くなるよう、職員は支援しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は入浴担当の職員がその都度、声掛けをし、同意を得てからお連れしています。その時に入りたくないご入居者に対しては時間を置いて声掛けをしたり、声掛けする職員を変える等の工夫をして入浴を楽しんで頂けるように支援しています。好みのお湯加減があるので調整しています。	開所以来1日おきの入浴を実施している。午後にゆっくりお風呂を楽しんで寛いでほしいとの理由から、14時～17時30分までの間の、できる限り利用者が希望する時間で対応している。入浴を好まない方には時間をずらしたり、対応者を変えたりしている。時には、「体重測定をしますのでお願いします」と声を掛け、誘導する事もある。冬場は庭で穫れた柚子を使って柚子湯を楽しんでいる。脱衣場に温風ヒーターを備え、ヒートショック対策をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の余暇支援、お手伝い、体操や散歩で体を動かすことが夜間の良眠に繋がります。疲れたら居室で適度の昼寝をしていただいています。ほぼ毎日している「ごぼう先生の「椅子体操」は皆さん大好き約1時間しっかり体を動かされます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	きらり薬局の薬剤師と連携をし、ケースファイルに薬情書を保存し、いつでも全職員見られるようにしています。服薬時は必ず職員2人で対応し、薬の確認役と与薬する職員で集中しながら対応をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	もやしのひげ取りや食器拭き、洗濯物畳みなど出来るご入居者には毎日お手伝いをして頂いています。職員がお願いをしなくても自ら進んでお仕事をして下さいます。農家の出身であるご入居者には畑の大根の収穫を手伝って頂き、生き生きとした表情が見られました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍を経て、ご家族と一緒に外出を再開しました。ご家族と外食に出かけられたり、コンサート、浅草の西の市や年末年始は2泊3日で伊豆にご旅行に行かれた方もいらっしゃいます。日々の散歩の余暇支援でご入居者を外にお連れしています。	コロナ禍で外出ができなくなった利用者のADLの維持や下肢筋力の低下を懸念して、裏庭の広い敷地のなだらかな地形を生かし、利用者が歩きやすいように敷石を敷き詰め、イングリッシュガーデンを造った。開設時に植えた河津桜や白梅を活かし、歩道の両側には四季折々に咲くバラや紫陽花、季節の花々を植え、利用者が毎日庭で花を見ながら歩行訓練や散歩を楽しめるようにしている。またパーゴラやガゼボでは、ひとやすみをしたり、お茶を楽しんだりしている。また歩道の各所にベンチを置き、利用者が一息つけるようにしている。今年度は庭に野外音楽堂を建てた。2月末にはこけら落としでプロの音楽家によるコンサートを予定している。居室やリビングの掃き出し窓から自由にテラスに出られるため、その日の気分で散歩ではなく、庭の花を見ながら外気浴をすることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症であることによる盗られ妄想等の金銭トラブルの出現があるので金銭はお預かりしていません。ご入居者にはご家族が預かっている事をその都度お話ししています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいという時は、あらかじめご家族の了解の上で折り返し電話をしています。お友達も認知症になり何回も掛かって来ることがあります。エンドレスの電話なので職員が対応をしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の共用空間の掃除、トイレ、浴室、居室の掃除を行い、ご入居者が快適に過ごせるように掃除をしています。時間帯によって太陽が眩しい場所などはカーテンの開閉をご入居者の要望を聞きながらしています。天気の良い時は居室の窓から富士山が見えます。季節にあった掲示物や写真の展示などを行っています。	テラスに面したリビングの掃き出し窓は大きく、天気の良い日には明るい陽射しが差し込んでいる。広いテラスには利用者が下肢筋力を維持するためのステップ台を置き、園庭の散歩と併せてステップ台の昇降を行って、ADLの維持に努めている。各ユニットのリビングにピアノを置き、施設長が弾くピアノに合わせて皆で歌を歌うこともある。やまぶき棟とあじさい棟からは庭園が見える。河津桜の満開時には1週間ライトアップを施し、リビングから夜桜見物を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテレビの前にソファを置いてそれぞれが過ごしたい場所で過ごして頂けるような配置にしています。みずき棟ではテラスにも長椅子を置き、外で日向ぼっこを楽しまれる方も多いです。玄関にも長椅子が置いてあり廊下を歩き一休みしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具や椅子などはご家族になじみの物を用意して頂き、ご入居者が居心地よく過ごせるように支援をしています。認知症の進行により危険と判断した時はご家族にお話しをして持ち帰りをしていただいています。	居室にはエアコン、介護ベッド、照明、クローゼットが整備されている。カーテンと寝具類は好みの物を持参してもらっている。利用者は小さな家具類やテレビ等の生活用品を置き、自作のパッチワークのタペストリーや、家族の写真等を飾って、思い思いの部屋にしている。各居室の掃き出し窓から自由にテラスに出られるようになっている。自分でタオルや衣類を干している方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下とリビング、ダイニングは対面式キッチンから見守りができるようになっています。洗濯物を干す畳む、食器拭き等のお手伝いは職員が見守り声を掛けながらして頂いています。		

事業所名	グループホーム都筑の丘
ユニット名	あじさい棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員室の壁の最上部に理念を掲示しており、勤務の度に職員間で理念を確認しあい、理念の実践にむけたケアを意識しながら働いている。又、ワーカー会議では参加者で理念を読み上げており、法人設立の意義を意識し直している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	川和町地区福祉ネットワークに参加し、毎年区役所へのパネル展示や「川和アート展」の参加し他事業所との交流や地域の方々へと都筑の丘をPR活動している。他にも都筑ふれあいの丘のみどり保育園園児との芋堀交流会や、川和町コミュニティフェスタへの出展依頼をされたりと、地域からの誘いも多くあり、積極的に参加してきている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所とは日常的な交流（散歩の際の挨拶、雑談など）があり、理事長夫妻も昔から町内に住んでいる為、町内の方の困りごとの相談に乗りながらホームのPR等情報発信している。設立時より地域の方のお役に立ちたいという思いがあり広い庭が地震時の地域の方の一時避難所になればよいと思っている。あじさい棟のご入居者の半数が川和町の住民である。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回行っており、理事長、副理事長、施設長によって家族の代表や地域包括支援センター、民生委員など地域の方々と共に活動報告や、地域情報、法人へのご意見を頂き、サービス向上に向けて活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎年行われる都筑区役所の認知症パネル展に参加しパンフレットを置かせていただきPRもしている。加賀原地域ケアプラザが中心となっている川和地区ネットワークの会員となって参加している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	安全の為でも、その方の自由と権利を侵害してはいけない事を、ワーカー会議の場などで確認合っている。会議や研修では転落防止の為に4点は拘束になるが壁にベッドを寄せての2点柵はどうかどうかなど検討しながら、身体拘束をしないケアを考えケアを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については定期的な虐待防止研修を受けて各自がレポートを作成し、学んだ内容についてワーカー会議の場等において意見を共有している。又、不適切な対応が虐待に繋がりうることから、痣などが出来ていた場合には管理者やホーム長に報告し、写真に撮り、早期に原因究明に向けて相談し解決に向けて対応している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者の権利を尊重して守ることの大切さは理解しているが、制度は現在では活用はしていない。今後、独居や身寄りの無い方が増えていくので、相談に乗れるよう学びを深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に相談員が利用者、および代理人の権利（第10条）、義務（第13条）契約解除（第14条）等をわかりやすく説明してご理解していただき同意を得て契約しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの要望があった際は管理者に報告し、内容の検討をし速やかに対応をしている。外部評価の匿名アンケートの意見も重視し、全体会議でどう実現出来るかを話し合い、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職位を問わずにこうしたらいい、こうなると良い等の意見を提案し検討し合っている。有効で重要なものに関しては直ぐに取り入れ、都筑の丘全体の運営に反映している。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ひとりひとりが働きやすいよう、日数や夜勤専従などの働き方の相談にのっている。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修を重ねながら実際のケアの質の向上をはかれるよう、日々研鑽している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市高齢者GH連絡会の研修やブロック会議に参加して意見交換をしている。昨年の現場研修には2名が参加しましたが、受け入れは予定のGHの都合が悪くなりできなかったのが残念でした。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の体験入居や家族記入のアセスメントシート、入居以降も全職員で事前アセスメントでは不明な点を補足し、本人の思い、要望を伺いながらいち早く都筑の丘で安心して生活できるよう務めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族、ご本人やご家族の希望や思いをお聞きし、不安なこと等があれば電話や面会時にお話を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居される日は、ホーム長とサブリーダーが対応し、相談員や管理者も参加し、ご本人やご家族の要望をお聞きしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の好きなことや残存能力を考慮し家事を手伝ってもらったり、余暇でかるたの読み上げをさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご入居者のご家族がゆっくり接したりコミュニケーションの場とし居室でおやつを食べたり、食事介助をいただいたり、車いすで庭の散歩に行ったり家族だけの時間を過ごしていただいている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は面会時間や人数の制限はなく、友人もご家族に了解を頂き来ていただいています。にぎやかな笑い声が聞こえてきます。なじみのレストランや美容院へも行かれています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士一緒にお手伝いや散歩、余暇に参加したり入居者同士が自然と友人関係を築き深めていけるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も何かあれば遠慮なくご連絡下さいと家族にはお伝えしている。ご入居者は亡くなられていても都筑の丘を紹介してくださり入居された方が複数います。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の望む生活が都筑の丘で実現できるよう、過去の生活歴、アセスメント、お話の内容なども参考にしながら、意向や希望の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前のアセスメントをもとに、確認や不明点のご家族、ご本人にお聞きしながら。又、入居後は関わる職員皆によってカンファレンスをしご入居者の情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者には個々の能力や体力、希望に合わせて、出来るだけ自由に生活出来るように支援している。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成はホーム長の担当だが、作成のためのアセスメントは本人、家族、職員の協力を得て、内容に反映させながら作成している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の出来事やケア方法についてはPCで報告書に詳しく記録している。又、ケアプランに沿った介護が出来ているかも記録と共に毎日振り返っている。気づきや工夫についてはその都度検討し、内容は連絡ノートやワーカー会議等で周知してケアに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍の時、ご入居者が楽しく過ごせるようにという想いで畑を縮小し庭を広くして季節の花を見ながら筋力低下の予防のため歩くことを目的とした庭を理事長の家族、ボランティアの方が整地し、うさぎや羊、猫、犬、コアラのオーナメントを配置し素敵な庭に鳴りました。その後、薔薇の花を植え、横浜イングリッシュガーデンに薔薇の管理を委託し今は素晴らしいイングリッシュガーデンになっています。面会に来られるご家族、ご近所の方たちが楽しみにされています。現在は、ご入居者、ご家族、職員、地域の方達が一同に集まりコンサートを楽しむことが出来るようにお芋の畑を移動して野外音楽堂を建設しています。コロナの前のように地域の方たちとお祭りも復活させたいと思っています。また、この音楽堂が地震の時などの避難場所になるかとも考えています。2月28日にこけら落としのコンサートを行う予定です。地域の方達にもきていただく予定です。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	庭を散歩しながらボランティアの方から野菜をもらい、職員が工夫して作っている。近所の人と会えば挨拶しながら言葉を交わしたり、毎年芋堀でみどり保育園児と交流している。1月からは、月1回音楽ボランティアの方が音楽療法に来てくれることになった。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通常は提携のさとう内科クリニック往診医によって月2回往診していただいている。別途体調を崩さされた際は緊急で往診し、救急搬送や入院治療等、大きな病院での治療が必要な際は、本人、家族の希望を伺い、希望に沿えるよう対応している。又、なじみのクリニックへと受診希望があれば、家族対応で受診している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームには看護職員の配置は無いが、毎週の訪問看護の健康管理や特変時にはすぐに駆け付けてくれる。気軽に相談にのって下さり、処置の指導や往診医とのやりとり等、円滑な医療に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は担当の看護師や必要ならDr.の説明にも立ち会い、普段の生活の様子などを伝えている。退院に向けての話し合いも家族や担当看護師と連絡をとりあい、本人が早く退院できるようお互いにとってスムーズな入退院となるようしている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	介護保険上の見取り対応はしていないが、今まで何人かの看取りはしている。1月にはみずき棟で看取りをしたが、ご本人ご家族の思いを真摯に受け止め、さとう内科のDr、家族、職員とカンファレンスを行い看取りとなった。常時の寝たきり状態や医療を常に必要とする場合には家族に現状を伝え、上記状態でも本人が安心して生活できる場への移動をご家族と共に検討していつている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変対応や事故発生時の対応については研修や事故報告、事故報告書の回覧、ワーカー会議でのふりかえりと通じて学び、対応力や再発防止力を身につけるよう励んでいる。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPを整備し、それに沿って災害時対応を入居者も交えて定期的に訓練している。2月には都筑消防署の署長さんが来られ震災講話をしてくれました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期で行っている接遇や虐待防止研修での学びを日々の介護に反映させている。入居者に対することば使いが不適切な対応につながりかねないので、言葉遣いや、入居者への態度は職員同士気を付けている。又、プライバシーの観点からも、入居者に関する相談は別室で行い、排泄や入浴介助は他者から見えないよう注意して行うこと徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のしたい事、会いたい人、食べたいもの、過ごし方等の希望などを聞き出している。美容院へ行きたい、教会に行きたい、お寿司が食べたい等は実現できている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夕方にひとりで散歩に行きたいなど、応えられない要望もあるが、外に行きたい、皆で何かしたい、今日は横になりたい等、本人の意向に沿って生活できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方々が気に入ってる洋服や恰好をしていただくようにしている。自身で着られない方や衣類選択に迷われる場合は職員もお手伝いし、その日の服装を決めている。又、衣類の用意について家族から相談を受けた際は、どのような衣類が適当かや、サイズについてアドバイスしている。家族がいらっしゃらない場合などは職員が代わりに購入することもある。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の献立は旬の食材や果物が食べられるよう常に工夫されている。畑で収穫した物やご近所からのいただき物等の際は献立に1品足して提供するととても喜ばれる。又、お祝いの老舗のお弁当を頼んだり、地域の中華屋さんやお寿司の出前を取ったりして通常メニューでは出ない料理を楽しむことが出来る日も設けている。準備や片付けも無理強いせずに出来る方にしていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるメニューはバランスよく必要栄養量を摂取することができる。メニューは同一だが、量は一人一人の状態によって変えている。又、体重や血液検査結果、その時々体調によって栄養量と水分量の調整をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施。出来る方は声掛けのみとし、介助が必要な方はその程度によってお手伝いをしているが、できるだけ本人の力を使って磨くよう支援している。又、毎週提携歯科より歯科衛生士が訪れ、口腔衛生や磨き方の指導、歯科往診が必要な際は歯科医師への連絡をしてくれるようになっている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の記録を確認し、排尿や排便がトイレで行えるよう支援している。具体的には必要なタイミングで声を掛けたり、パッドサイズやおむつの調整をしている。トイレでの排泄を大事にしており、トイレにお連れするタイミングや必要な回数、頻度、お一人では歩けない方も極力トイレにお連れして排泄してもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取、食物繊維の摂取、身体を動かすことを行うが、必要な方には往診医に排便状況を伝え、便秘薬も使用しながら便秘解消にとりくんでいる。時には訪問看護師による摘便処置をすることもあります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	1日おきで入浴して頂いています。入浴時間は14時～17時30分迄の間でとしている。順番の特別決まりは無いが、この時間に入りたいという方がいる時は希望に沿っている。畑で取れた柚子を沢山入れた柚子湯は喜ばれている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者は自由に居室のベッドで横になって休める。食事をせずに眠り続ける事もあるし、起床時にもうちょっと寝かせてといわれたら、もう少し後に声をかける。一方で昼夜逆転気味の方に対しては時間でおきてもらったり、疲れやすく自分では動けない方はこまめベッドで休んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は入居者が何の薬をのんでいるか理解している。新しく薬が出る際は連絡帳でその旨周知し、症状の変化について観察し共有している。与薬時は必ず職員2人で薬を確認する係、与薬する係をして、終わった後は、終わった薬袋の数とからのケースを確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳んだり、食器拭きは好きな方が率先してくれれます。塗り絵や切り絵、ボードゲーム等の一人ですることや、風船バレーやジェンガ、トランプのババ抜き等は盛り上がります。歌は大好きなので季節の歌や昔の流行歌を歌われます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は庭で景色や屋外の空気を楽しみながら散歩しています。午前、午後の2回行くこともあります。ご家族と一緒に散歩やランチを食べに行かれる方もいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症であるがゆえに忘れてしまうことによる盗られ妄想が出現するので金銭はお預かりしていません。ご入居者には「ご家族が預かっている」とお話をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の協力を得た上で、ご本人の不安が募った際に電話をして話しをして安心してもらえるよう支援している。又、余暇の時間に書いた絵手紙を送ったりしている。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に、不要な物は片付け、入居者が居心地よく過ごせる空間づくりを心がけている。明るさ、冷暖房、日の光、テレビの音量なども、入居者が心地よく感じられるよう調整している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	好きな場所に居ていただいています。自席でひとりで本を見たり、居眠りをされたり、ソファでテレビを見ながらお喋りされたり、居室でテレビを観たり、昼寝をされたりしている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	どの部屋も基本的にはシンプルで片付いた部屋で生活している。又、タンスや鏡台、テレビ、ライティングデスク等、ご自宅で使われていたものがあればお持ちいただき、ご本人が落ち着いた空間となるよう工夫している。認知症が進行し危険と判断したものはご家族に持ち帰って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングは対面キッチンとなっており、入居者の様子がよく見守れるようになっている。又、廊下、リビング、浴室、トイレ、脱衣場へは手すりがとりついていて、自分の力で安全に過ごせるようになっている。その他トイレ、洗面、浴室などもシンプルで扱いやすく出来ている。		

事業所名	グループホーム 都筑の丘
ユニット名	やまぶき棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	5つの理念の中にある「地域社会の一員として心豊かに生活を送れるように支援します」というのがあります。ご入居者は川和町の住民として生活をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	川和地区福祉ネットワーク交流会に参加しています。今年も「川和アート展」に出品しました。昨年も川和小学校のコミュニティフェスタに参加してご入居者を中心にパッチワーク作りをしました。河津桜はご近所の方も楽しみにされているのでライトアップをしています。今年もみどり保育園が秋のお芋ほりに来てくれご入居者も楽しみました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元の都筑が丘商店街への地域貢献として開設以来地域の商店（米屋、肉屋、電気屋、食品全般の宝屋）を利用しています。中華一番からは年に数回出前を取っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回行っています。ご家族、民生委員、地域包括支援センターの方、ボランティアの方たちと情報の交換や、相談、時には昔話に花が咲くこともあります。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	都筑区役所主催の認知症パネル展に参加し、今年はパッチワークを展示して、パンフレットも置かせていただき都筑の丘をPRさせていただきました。加賀原地域ケアプラザが主催する川和地区福祉ネットワークの会員となり参加しています。今年も川和アート展に参加します。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束0」を前提に日々ケアをしています。「これは身体拘束？」と思われる場面もあります。その事に気づくことが大事なのでワーカー会議の時に確認しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員と身体拘束適正委員会は同時に3か月毎に全体会議時に行っています。入居者の痣や傷はすぐに影像を撮影し管理者に報告をして原因を究明しています。入居者の安全と人権を守る努力をしています。毎年「神奈川県養介護施設従事者による一斉点検」の自己点検を全職員が実施し、その結果をまとめ研修をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者の権利を尊重して守ることの大切さをも含めて研修をしています。昨年より成年後見人制度を利用する事になった方がいましたので、改めて良い事例として学ばせていただきました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に相談員が利用者、及び代理人の権利（第10条）義務（第13条）契約解除（第14条）等をわかりやすく説明をしてご理解していただき同意を得て契約をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年外部評価でいただいた家族アンケートはたくさんのご意見をいただいています。改善できることは速やかに改善しています。面会時にいただいたご意見、提案も職員と相談、話し合いをしてすぐに対応をしています。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務の中で発生した問題点は速やかにその場で話し合い解決するようにしています。月に1度のワーカー会議で職員からの些細な事でも要望、提案等を聞いて改善に繋がっています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力、実績、貢献度などを公平に見極め職員が前向きに安心して働けるような環境を作ることを努力しています。介護職員処遇改善加算は年3回支給されています。悩んだり、ハラスメント等起きた時は相談できる社会保険労務士がいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	感染症の研修は神奈川県看護協会の感染管理認定看護師の方に来ていただき行いました。N95のマスク、ガウン着脱のチェックやノロウイルス対策について勉強させていただきました。働く職員一同が集まり研修することはコロナ以来できなくなっているので動画による研修をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市高齢者グループホーム連絡会の介護職員現場交流交換研修に参加して、普段とは違う環境から学ばせていただきました。今回は相手先のGHの方の都合が悪くなり受け入れができなかったことは残念でした。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご家族に書いて頂いたアセスメントをもとにご本人から話を聴きながら緊張や不安を取り除くようにしています。職員だけでなく他入居者も会話に加わると話が弾み新たな情報が引き出せます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のご入居者に対しての思いや、ホームへのご希望等を遠慮なくいつでも相談していただけるように面会時や電話でしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	突然今までと異なる環境になり不安な気持ちを職員は理解し、G Hの生活に慣れさせていただくことを短期目標にしてその方に必要な支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	9人のご入居者と職員が下宿屋さんのように生活することが理想です。お茶の時間などに皆さんと談笑されています。それぞれの得意分野を職員が把握してご入居者と協働しています。人生の大先輩として教えていただくこともあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在は面会時間内はご家族のマスク着用を条件に時間や人数制限をなくしホーム内の好きな場所で面会をしていただいています。ご家族と庭の散歩をしてから居室でご家族がお持ちになられた好きな物を食べたり、おしゃべりをされています。時にはお孫さんやワンちゃんまで加わりにぎやかに過ごされています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と家に帰ったり馴染みのレストランで食事をされたり、お誕生会もされています。手紙の代筆、代読をしたり、電話の時は同じ話をされたりするので、付き添って対応します。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	突然始まる帰宅願望や繰り返される同じ話を根気よく聞いてくれたり、洗濯物の畳みや食器拭きを担当をきめながら自主的にやって下さいます。お互いの部屋に行ったり来たりしてお話をされています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去をされるとご本人との関係性はなくなりますが、ご家族が紹介して下さりご入居された方が何人もいます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	帰宅願望、入浴拒否があっても当たり前のことと受け止めご本人の不安な気持ちを根気よく聴きます。入浴時や散歩の時などはゆっくりお話を聴く事が出来ます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に幼少期から現在までの生活をご家族と一緒にアセスメントをします。職員との会話の中で「昔クリスマスに生きた七面鳥を貰った」というご家族もしらなかったエピソードなどもあり報告すると喜ばれます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調、気分、天候等を視野に入れながら過ごして頂いています。嫌なことは強制はせず、好きなテレビや得意なお手伝いをされたり、1人が好きな方は居室で過ごされています。昼寝を日課とされていてご自分で時間になると居室に行かれ時間になると起きて来られます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	身体機能の衰えや認知症の進行などを感じた時はその都度対応方法を話しあいます。ご家族や往診医に相談することで介護計画を変更しています。ワーカー会議時にモニタリングをしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は毎日パソコンで入力して報告書と写真をご家族に送っています。ご家族はホームでの様子がよくわかると安心されています。笑顔の写真はとても喜んでくださいます。職員は出社したらすぐに各ユニットの連絡ノート、業務日報、報告書に目を通し情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	川和町内会、地元の商店街、川和地区福祉ネットワーク、地元の消防団、地域包括支援センターなど多くの協力を得て多機能化に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ前は書道、絵手紙、社交ダンス、音楽療法などのボランティアの方に来ていただいていたがコロナ禍以降、ボランティアの方も高齢となっています。音楽療法は新しいボランティアの方が1月より来てくださり月2回開催できるようになりました。ご近所から野菜や採りたての筍をいただいています。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	さとう内科クリニックの訪問診療に際してはご家族に同意をいただいています。緊急時や薬の変更等はDrから直接ご家族に電話で説明をしていただきますので、ご家族も安心されています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週金曜日の看護師の健康観察の時には相談にのってくれるので心強いです。皮膚剥離やでき始めの褥瘡の処置や、とげが刺さった時の処置なども気軽に聞けます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急受診、入院時には訪問医療のさとう内科から迅速に紹介状を送ってもらっています。受診時にはホーム長や管理者が家族と共に同行し、医療機関に情報の提供をしています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	G H都筑の丘の「重度化に関する指針」を基盤とし、ご家族、ご本人の思いを大切にして訪問医療のさとう内科と連携しながら終末期に向けたケアに取り組むこともあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナでできなかった応急手当や初期対応の訓練を令和7年度は2月13日に都筑消防署 川和消防出張所が来てくださいます。その際に川和出張所の署長より震災講話、AEDの使い方も実際に体験しました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPの訓練を行っています。認知症のため他所に避難することは困難なので、広い敷地を利用してホームで避難することを考えています。川和町の消防団、ご近所の住民の方との協力体制はできています。また、ホームの広い庭が地域住民の方の一時避難所になることも考慮しています。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	GH都筑の理念①が「個人を尊重しプライバシーを守ります。」です。ご入居者は人生の先輩でありお客様です。ご入居者が「私（自分）はここで大切にされている。」ご家族が「都筑の丘で良かった。」と思っただけのような接遇を目指しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや気持ちを表現できない方の思いをくみ取り「今どうしたいのかな」と考えて援助しています。散歩や余暇支援の参加は声はかけますが無理強いはしないでご自分で決めていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気分を見ながら一人一人のペースに合わせています。1日のスケジュールは決めず天気がよいと午前、午後数回散歩に行くこともありますが行きたくない人は新聞を読んだりテレビを見たり居眠りをしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選べない方は職員がお手伝いしながら季節に合ったものを着て頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い、食器拭きなどは得意の方が率先してしてくれ自然に役割分担ができています。人気のある献立は栄養士に話し回数を多くしてもらっています。ご近所の町中華の中華一番や銀のさらからのお寿司の出前をとり普段と違う料理楽しんでいます。お正月の手作りのお節、母の日、父の日、敬老の日は老舗の味を楽しんでいます。おいしく食べることはなによりの支援だと思っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専属の栄養士によるバランスの良い献立に旬の物を取り入れています。ご飯や水分の量、調理方法、減塩などその都度相談し指導してもらっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週、歯科衛生士による口腔衛生をしています。職員は口腔衛生師に相談や指導をしてもらっています。毎食後に歯磨きの声掛けと見守り、必要な介助、夕食後には義歯を消毒してしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しリハビリパンツを使用している方もトイレで排泄をいただいています。ご本人には自立支援になりご家族には経費の負担が減ることにもなります。リハビリパンツから布パンツになった方もいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	不穏の原因が便秘であることを職員は理解しています。1日2回以上の体操やストレッチ、便秘時には歩行や下腹部の運動やマッサージをしています。排便チェック表を基にかかりつけ医に相談しながら便秘薬の調整をしています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	1日おきの入浴ですが、拒否の強い方は無理じいはず翌日にしたり、声を掛ける職員を交替したり連携プレーで入浴していただいています。庭で採れる柚子を沢山入れた柚子湯は喜ばれます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の余暇支援、お手伝い、体操や散歩で体を動かすことが夜間の良眠に繋がります。疲れたら居室で適度の昼寝をしていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬管理表にそれぞれの薬の目的、量、時間を明記して、与薬時はそれを二人の職員が声を出して確認しあい与薬しています。薬の変更があった時は薬担当職員がユニットの職員に徹底周知しています。困った時は提携しているきらり薬局に相談するとすぐに対応してくれます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者一人一人の得意な事、好きな事、好きな歌、好きな食べ物等を職員は把握し、テレビの番組は毎日チェックしています。「朝ドラ」「BS日本こころの歌」や「はじめてのおつかい」等々を録画をしたり映画等を楽しんでいただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ時は外出を控えていただいていたが、現在はご自由にご家族と外出されています。またイングリッシュガーデンや遊歩道で散歩や体操をして楽しんでいます。季節の畑の収穫は皆さんとても楽しみにされています。テラスやガゼボでお茶をのんだり歌を歌ったり、天気の良い日は富士山に手を合わせ拝み「富士山は日本の象徴だね。」と喜ばれます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症であることによる盗られ妄想等の金銭トラブルの出現があるので金銭はお預かりしていません。ご入居者にはご家族が預かっている事をその都度お話ししています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいという時は、あらかじめご家族の了解の上で折り返し電話をしています。また毎日お電話をご家族とされている方もいらっしゃる、ご家族の定期的な電話を楽しみにされています。ご家族との電話で繰り返し同じ話をしたり、話されない方は職員が付き添って対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天気の良い日はリビングの窓を開放し自然の風をとりこんでいます。広いテラスで体操したりお茶を飲むことは開放感があります。やまぶき棟からは富士山が見えるので「富士山が見えるなんて幸せだね。」と喜ばれています。窓が大きく明るすぎる時はほどよい明るさにしています。CDの音楽も季節や好みで選曲しています。食事やお茶の時はピアノの自動演奏でレストランのようです。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファが2つ顔が向きあわないように置いてあります。玄関や廊下にもベンチが置いてあり、好きな場所でおしゃべりをしたり日光浴や昼寝をしたり、1人静かに本を読まれる方もいます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使っていた筆筒、鏡台、椅子や好みのカーテンなどご家族がお持ちになります。認知症の進行により危険と判断した家具類はご家族にお話しをして持ち帰りをしていただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下とリビング、ダイニングは対面式キッチンから見守りができるようになっています。洗濯物を干す畳む、食器拭き等のお手伝いは職員が見守り声を掛けながらして頂いています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

グループホーム都筑の丘

作成日

令和8年6月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が形骸化しているので運営推進会議の場を利用し利用者や家族に対し、今以上にGH都筑の丘の運営に携わっていただけるよう呼びかけることを期待いたします。	形骸化から活性化した運営推進会議を行います。	運営推進会議の形骸化については2か月に1度やらなくてはという義務感から形式化していることは否めません。初心に戻り会議の目的、偏らない参加者を考慮し活性化した運営推進会議を行います。	3か月
2	4	川和町の住民の高齢化に対しGH都筑の丘として地域に対しできることを地域包括支援センターと意見交換をすることを期待します。	川和町の高齢者の実態とニーズを抽出しできること、役に立てるを考えます。	加賀原地域ケアプラザとは今以上の密着した連携をとって地域の高齢者のお役にたてるような、庭の桜や薔薇、紫陽花を見にきていただいたり、庭の音楽堂を地域のイベントなどに利用して頂けたらと思います。	6か月～1年
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。